



第2580地区 東京豊島東ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

創立/1986年2月19日 (会長)廣内 世英 (副会長)渡邊 裕之 (幹事)有我 信行
例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
HP <http://www.toshimah-rc.jp> E-mail info@toshimah-rc.jp

第 1315 回例会

2013 年 12 月 11 日

本日のプログラム

例会 12:30~13:30
卓話 「税法改正のあれこれ」
税理士 山元 巖会員
年次総会 (次年度役員理事決定)

🎵 今月のソングリーダー 有我 信行会員 🎵

先週の例会報告 2013 年 12 月 4 日

会長報告

- ①村中会員にバギオ基金より寄付金領収書と感謝状がとどきましたので授与いたします。
- ②ロータリー日本財団よりこの度第6回のマルチプル・ポールハリスフェローになられました新倉会員にルビーの襟ピンが届きましたので授与致します。



村中会員へバギオ寄付感謝状



新倉会員へ第6回マルチプルPHF

次回のプログラム

忘年夜間移動例会(家族会)
東京ステーションホテル「鳳凰」
受付 17:00
点鐘 17:30
ウクライナの歌姫
オクサーナ・ステパニユック癒しのディナーショー

幹事報告

1. 当クラブの社会奉仕委員会活動として社会福祉法人錦華学院支援プロジェクトが、2014-2015年度ロータリー財団地区補助金の地区推薦が決まりました。
今後、R財団本部での審査を受け、2014年6月~7月頃に満額の4,000ドルが確定される予定です。
ご協力ありがとうございました。
2. 本日開催されました理事会にて新入会員候補者の推薦承認を致しました。
3. 1月15日例会卓話を前川PGにお願いしています。
「高僧の墨跡について」をお話いただきますが、「無学祖元の書」など貴重な書をお持ちいただきますので、ぜひ近隣クラブ会員等へお声掛けいただければ幸いです。

■ビジター

東京南 RC

村上 快史様

■出席報告

会 員	出席参加 会員数	出席数	欠席数	出席率	11月20日分 修正出席率
33 名	29 名	21 名	8 名	72.41%	89.66%

FAX番号・メールアドレス変更のお知らせ 東京福生ロータリークラブ

(現)

(新)

FAX番号 050-3488-1548 → 042-513-0344

メールアドレス r-fussa@everynet.jp → r-fussa@clock.ocn.ne.jp

変更日 2013年12月9日より



ニコニコBOX

大林会員／家内の誕生日祝。皆様にお祝い頂き、ありがとうございます。

島田会員／久しぶりの司会です。よろしく！！

櫛田会員／今年の冬は寒くならず鍋ものを未だいただいております。家族皆さんでいただくお鍋が待ち遠しいです。

今田会員／早退いたします。



12月の誕生日会員

巨大台風が直撃したフィリピンを ロータリークラブが支援



巨大台風「ハイエン」の被災者のための救援物資を準備するフィリピンのロータリークラブ会員。世界中のロータリークラブが被災地に送るための救援物資を集めています。

Photo Credit: 写真提供：ロータリー第3860地区（フィリピン）

先週、巨大台風（ハイエン）が直撃し、甚大な被害をもたらされたフィリピン中央部の被災地を支援するため、世界中のロータリークラブが救援活動を開始しました。この台風では、何千人もの命が奪われ、60万もの家族が家を失いました。食糧、水、薬などが著しく不足しており、特に遠隔地では切迫した状況が続いています。

ロン・バートン国際ロータリー会長は、世界中の34,000のクラブに、被災地への救援活動を行うよう呼びかけています。「世界中のクラブに緊急支援を行うようお願いし、家、学校、事業の建て直しといった活動の計画も始めています。助けを必要としている人たちに支援を提供するのがロータリーです」とバートン会長。

ロータリーのパートナー団体「シェルターボックス」は、フィリピンの4,000世帯に救援物資を送り、その他の救援活動にも協力しています。

バートン会長は、シェルターボックスとのパートナー関係について次のように話します。「シェルターボックスとのパートナーシップを結んでいるのは、世界中のロータリー会員に、即座に救援活動を実施する機会を提供できるからです。今回の場合、フィリピンで命の危険にさらされている人びとを、直接的に助けることができます」

フィリピンのロータリークラブは、約100年間、国内の地域社会に大きな変化をもたらしてきました。フィリピン初のクラブは1919年にマニラで結成され、今日では、国内に800のクラブが存在し、地元や世界での奉仕活動に尽力しています。

ロータリーの最優先活動であるポリオ撲滅が開始されたのは、1979年にフィリピンで600万人の子どもたちに予防接種が実施されたことにさかのぼります。フィリピンやその他の国でのロータリーによる成功を受け、世界保健総会は「世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）」を立ち上げ、ロータリーはその主要パートナーとしてポリオ撲滅活動に取り組んでいます。

これまで、水や衛生設備の改善、医療・歯科治療のミッション、識字率向上プログラム、森林再生活動など、多くの活動を実施してきたフィリピンのロータリークラブ。9月にマグニチュード7.1の地震がフィリピン中央部を襲った際には、被災者にいち早く救援物資を届ける活動を行いました。

「ロータリー会員は、緊急事態に対応するだけでなく、建て直しの役割も担う」と話すバートン会長。「なぜなら、ロータリークラブは世界中の地域社会に根ざしているからです。国際救援部隊が去った後も、ロータリーは地域社会の一員として、被災地の再建支援を継続していきます」